

令和6年度 第2回当別町空家等対策協議会 会議録

日 時 令和7年2月20日(木) 13:30～14:10
場 所 当別町役場 第二庁舎 2階 会議室
出席者(出席委員) 松岡委員(会長)、五十嵐委員、佐々木委員、高須委員
吉原委員
(事務局) 種田部長、中渡課長、樺澤係長、青山主査、稲垣主任
小杉相談員
傍聴者 なし

【会議概要】

1. 開 会

2. 挨拶

住民環境部の種田部長より挨拶。

3. 協議事項

①当別町における空家等の状況について

(1)空家登録状況について

【質疑応答】

<五十嵐委員>

- ・空家の解体の関係で、解体に係る期間や費用はどれくらいか？

<事務局>

- ・解体に係る期間については、空家となった時点ですぐ対処に向けて行動を起こしてくださる方もいれば、家財等の処分ができずに長期間放置されてしまう方など、ケースバイケースとなっている。

解体に係る費用については、建物の大きさや物置などの付属物の有無などによって変動があるが、概ね150万円～200万円くらいの費用がかかっていると把握している。

<吉原委員>

- ・アスベストに係る規制の強化により、解体費用がかさんできている。

(2)空家対応状況について

【質疑応答】

<五十嵐委員>

- ・町で住宅購入支援金の制度がスタートしているが、空家台帳に登録されているもので、利活用可能なものはないか？

<事務局>

- ・空家台帳に登録されている71件のうち、一般的な賃貸サイトに掲載されているような状態のものは12件（D判定）となっており、それ以外の物件は老朽化が著しいか、建物に直接的な損傷などが見られるようなもの。
- ・町内で空家のリノベーションなどを手掛ける方からの問い合わせもあり、空家台帳に登録されているもので、主なものについては直接物件を見ていただく機会も設けており、現状残っているものは所有者都合でマッチングしなかったか、リノベーションがそもそも厳しいといったものとなっている。
- ・引き続きそういった取り組みをしつつ、まずは根本解決のための老朽した空家の除却を主眼に取り組みを進めてまいりたい。

<松岡会長>

- ・最近は一軒家のニーズがあるが、紹介できる物件は少ないのが現状となっている。

②その他

質疑等なし

4. 閉会